

## 特別支援学校 学習指導案様式について

### 1 小・中学校, 高等学校に準ずる教育課程の場合

各障害種の特徴を踏まえた上で, 小・中学校, 高等学校の各教科の学習指導案様式を参考にしてください。

### 2 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う教育課程の場合

- 国語・算数など「教科別の指導」と生活単元学習・作業学習など「各教科等を合わせた指導」の学習指導案様式例と解説ナビを示します。参考にしてください。
- さらに詳しく知りたいときは, 「知的障害教育のための みやぎ授業づくりガイド」(R3宮城県総合教育センター)をご覧ください。

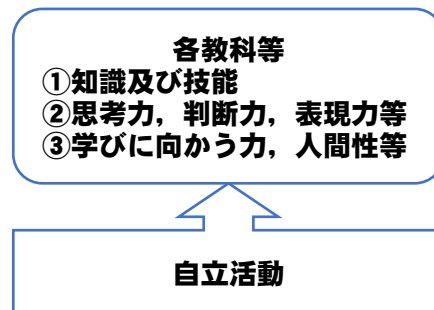


<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/>

### 3 自立活動の場合

- 「題材名」の欄には, 題材名とともに関連している自立活動の内容(6区分27項目)も記入します。
- 「題材の目標」や「題材の指導と評価の計画」などは, 「個別の指導計画」に基づき, 題材における到達目標や状況を記入します。

自立活動は, 三つの柱[知識及び技能][思考力, 判断力, 表現力等][学びに向かう力, 人間性等]では整理されていません。自立活動は, 心身の調和的な発達の基盤に着目して指導するものであり, 自立活動の指導が各教科等において育まれる資質・能力を支える役割を担っているものです。



- 学習指導案様式については, 「特別支援学校 教師のためのサポートブックⅡ 学習指導案を書こう 30のポイント」(H22 宮城県特別支援教育センター)を参考にしてください。
- <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tokusi/data3.html>



# 学習指導案様式例（教科別の指導）【解説ナビ】

〇〇学級（学級名） 〇〇科 学習指導案

・特別支援学校の場合、「〇学部〇年〇組〇〇〇」と記入します。

日時 令和〇年〇月〇日 〇：〇〇～〇：〇〇

場所 〇〇学級教室

指導者 〇〇 〇〇

1 単元（題材）名「〇〇〇〇〇〇」 ・児童生徒が活動をイメージしやすく、意欲が高まる表現で記入します。

## 2 単元（題材）設定の理由

(1) 児童（生徒）の実態 [〇年〇組・〇名]

- ・単元（題材）に関わる児童生徒の実態や興味・関心等について記入します。
- ・「〇〇な実態だから、△△を課題に考えている」というように、学習集団の実態と課題を整理して記入します。
- ・個の実態には、教科の実態や現在の課題等を記入します。

このような実態で、このような良い点や課題がある児童生徒たちなので、

(2) 単元（題材）観

本単元（題材）は、学習指導要領「〇〇〇〇〇」の、以下の目標・内容を受けて設定している。

〇〇〇〇〇 〇段階 目標

※ここに目標を記入する。

・単元（題材）に関する、学習指導要領の目標及び内容を転記します。

〇〇〇〇〇 〇段階 内容

※ここに内容を記入する。

本単元（題材）では、・・・・・・

- ・単元（題材）の特徴を記入します。
- ・単元（題材）に対する考え方や、なぜその教材を扱うのかという意義や価値を記入します。
- ・国語科については、小学校・中学校に準ずる教育課程で行う場合のみ、「取り上げる言語活動」を記入します。

このような意義のある単元（題材）を設定し、

(3) 指導観

- ・児童生徒の実態、単元（題材）観を基に、目標達成のためにどのような学習活動や指導の工夫をするのかを具体的に記入します。
- ・教材・教具の工夫、教師の協力体制（T・T）、学習環境について記入します。

目標を達成するために、このような指導・支援を工夫していきます。

## 3 単元（題材）の目標

- (1) ……できる。〔知識及び技能〕
  - (2) ……できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
  - (3) ……しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
- ・学習指導要領で示された目標及び内容を参考に設定します。
- ・「育成を目指す資質・能力」を明確にして記入します。

#### 4 単元（題材）の指導と評価の計画

##### (1) 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
……している。	……している。	……しようとしている。
・「3 単元（題材）の目標」に対して、児童生徒のどのような姿が見られれば、「おおむね満足できる」と考えるのかを具体的に記入します。		

##### (2) 単元（題材）の指導計画（○時間扱い 本時○／○）

次	小単元（題材）名	時数	学習活動	評価規準			評価方法
				知・技	思・判・表	主	
1	・目標達成のために、単元（題材）全体の主な学習活動や指導の流れが明確になるよう簡潔に記入します。 ・評価規準には、次時に向けて「指導に生かす評価」と、単元（題材）の学習の評価として活用する「記録に残す評価」があり、分けて記入します。 ・単元（題材）の中に評価の観点を位置付けることで、指導の重点を意識することができます。 ・評価の計画の考え方は、教科によって異なります。（本例は算数科）		・			行動観察	
2		○	・		行動観察		
3		○	○	・	ワークシート		
4		・	○	○	行動観察 発表		

※ ○：記録に残す評価    ・：指導に生かす評価

#### 5 単元（題材）の個別の目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A 児	・単元（題材）の個別の目標は、「3 単元（題材）の目標」を基に、「個別の指導計画」との関連を意識しながら設定します。 ・単元（題材）を通して「身に付けさせたい資質・能力」を具体化した「単元（題材）の個別の目標」を設定します。		
B 児			
C 児			

#### 6 本時の計画

##### (1) 本時の目標

- ・ ……できる。〔知識及び技能〕
  - ・ ……できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
  - ・ ……しようとする。「学びに向かう力、人間性等」
- ・「4 単元（題材）の指導と評価の計画」と整合性を図りながら、本時で育成を目指す資質・能力を考え、目標を設定します。  
 ・「3 単元（題材）の目標」を基に、集団全体の目標を具体的に記入します。

##### (2) 本時の指導に当たって

- ・本時の目標達成のために、本時の指導でどのような学習活動や指導の工夫や支援をするのかを具体的に記入します。
- ・教材・教具の工夫、学習環境等について記入します。

(3) 児童（生徒）の実態と個別の目標及び評価規準

	児童（生徒）の実態	本時の個別の目標	手立て	評価規準
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態を書く際には、できるだけ否定的な表現は避け、<u>どういった支援があればできるのか</u>を記入します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の個別の目標は、「(2) 本時の目標」を基に<u>育成を目指す資質・能力</u>を記入します。その際、「個別の指導計画」を基に自立活動の指導との関連を意識しながら設定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手立ては、<u>個々の実態を踏まえ、具体的に</u>記入します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価規準は、個別の目標に対して、<u>児童生徒のどのような姿が見られれば、「おおむね満足できる」と考えるのか</u>を具体的に記入します。</li> </ul>
B児				
C児				

(4) 指導過程

段階	学習活動 ○主な発問 ・指示 ◆予想される児童（生徒）の反応	指導上の留意点	評価
導入 ○分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習活動」は、学級で行う大まかな活動を記入します。</li> <li>・「指導上の留意点」は、児童生徒の具体的な活動や教師が行う指導・支援を記入します。</li> <li>・授業の流れ、児童生徒や教師の動きが分かるように記入します。</li> <li>・どの学習場面において、どのような方法で児童生徒の学習状況を評価するのかを明確に示します。</li> </ul>		
展開 ○分			
終結 ○分			

(5) 本時の評価規準

- ・ ……「(1) 本時の目標」で育成を目指す資質・能力に沿って、本時の学習活動を踏まえ、具体的に記入します。 ……している。(知識・技能)
- ・ …… ……している。(思考・判断・表現)
- ・ …… ……しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(6) 準備物

- ・教師： ……教師，児童生徒が準備するものを具体的に記入します。
- ・児童（生徒）：

(7) その他

- ・本時の学習活動に必要な、「場の設定」や「板書計画」等を必要に応じて記入します。
- ・児童生徒や教師の位置，教材・教具の位置，環境整備の工夫等が分かるように記入します。

【参考資料】みやぎ授業づくりガイド(令和4年3月)

<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/>



学習指導案様式例（各教科等を合わせた指導）【解説ナビ】

〇〇学校 〇学部 〇年〇組 〇〇〇 学習指導案

・特別支援学級の場合、「〇学級（学級名）〇〇科」と記入します。

日時 令和〇年〇月〇日 〇：〇〇～〇：〇〇  
場所 〇学部〇年〇組 教室  
指導者 〇〇 〇〇（T1）  
〇〇 〇〇（T2）

1 単元（題材）名「〇〇〇〇〇〇」 ・児童生徒が活動をイメージしやすく、意欲が高まる表現で記入します。

2 単元（題材）設定の理由

(1) 児童（生徒）の実態 [〇年〇組・〇名]

- ・単元（題材）に関わる児童生徒の実態や興味・関心等について記入します。
- ・「〇〇な実態だから、△△を課題に考えている」というように、学習集団の実態と課題を整理して記入します。
- ・扱う各教科等の実態や現在の課題だけでなく、良い点等も記入します。

このような実態で、このような良い点や課題がある児童生徒たちなので、

(2) 単元（題材）観

本単元（題材）は、〇〇を学習するに当たり、特別支援学校〇学部学習指導要領〇〇科、〇〇科…の、以下の内容を受けて設定している。

〇学部 〇〇科 〇段階 内容

※ここに内容を記入する。

〇学部 〇〇科 〇段階 内容

・単元（題材）で扱う、各教科の学習指導要領の内容を転記します。

本単元（題材）では、……………

- ・単元（題材）の特徴を記入します。
- ・単元（題材）に対する考え方や、なぜその教材を扱うのかという意義や価値を記入します。
- ・「各教科等を合わせた指導」の場合は、設定した単元（題材）で扱う教科等についても記入することで、教科の学習を意識することができます。

このような意義のある単元（題材）を設定し、

(3) 指導観

- ・児童生徒の実態、単元（題材）観を基に、目標達成のためにどのような学習活動や指導の工夫をするのかを具体的に記入します。
- ・教材・教具の工夫、教師の協力体制（T・T）、学習環境について記入します。

目標を達成するために、このような指導・支援を工夫していきます。

3 単元（題材）の目標

- (1) ……できる。〔知識及び技能〕
- (2) ……できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) ……しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

4 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
……………している。	……………している。	……………しようとしている。
・「3 単元（題材）の目標」に対して、児童生徒のどのような姿が見られれば、「おおむね満足できる」と考えるのかを具体的に記入します。		

※扱う教科の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
（教科名）……………している。	（教科名）……………している。	（教科名）……………しようとしている。
（教科名）……………している。	（教科名）……………している。	（教科名）……………しようとしている。

・「※扱う教科の評価規準」を考えておくことで、扱う教科の個別の評価を行う際の参考となります。

5 単元（題材）の指導計画（○時間扱い 本時○／○）

次	小単元（題材）名	時数	学習活動	扱う教科の内容
1				
2				
3				
4				

- 目標達成のために、単元（題材）全体の主な学習活動や指導の流れが明確になるよう簡潔に記入します。
- 扱う教科の内容を意識することで、その時間で児童生徒にどんな力を身に付けさせたいかを考えることができます。
- 扱う教科の内容の欄は、「生活 キ手伝い・仕事」などと記入します。内容のまとまりを記入し、段階は記入しません。

6 単元（題材）の個別の目標

	単元（題材）の個別の目標	扱う教科の実態
A 児		
B 児		
C 児		

- 単元（題材）で扱う内容に関する児童生徒の実態と個別の目標を記入します。
- 「3 単元（題材）の目標」を基に、単元（題材）を通して「身に付けさせたい資質・能力」を具体化した「単元（題材）の個別の目標」を設定します。
- 扱う教科の実態には、段階まで記入します。
- 扱う教科の実態を踏まえ、「単元（題材）の個別の目標」を記入します。

7 本時の計画

(1) 小単元（題材）名「○○○○」

• 児童生徒が活動をイメージしやすく、意欲が高まる表現で記入します。

(2) 本時の目標

- ……できる。〔知識及び技能〕
- ……できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- 「3 単元（題材）の目標」を基に、各教科等を合わせた指導の目標を具体的に記入します。
  - ……しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

(3) 本時の指導に当たって

- 本時の目標達成のために、本時の指導でどのような学習活動や指導の工夫をするのかを具体的に記入します。
- 教材・教具の工夫、教師の支援体制（T・T等）、学習環境の工夫等について記入します。

(4) 児童（生徒）の実態と個別の目標及び評価規準

	児童（生徒）の実態	本時の個別の目標	手立て	評価規準
A 児				
B 児				
C 児				

• 実態を書く際には、できるだけ否定的な表現は避け、どういう支援があればできるのかを記入します。

• 本時の個別の目標は、「(2) 本時の目標」を基に育成を目指す資質・能力を記入します。その際、「個別の指導計画」を基に自立活動の指導との関連を意識しながら設定します。

• 手立ては、個々の実態を踏まえ、具体的に記入します。

• 評価規準は、個別の目標に対して、児童生徒のどのような姿が見られれば、「おおむね満足できる」と考えるのかを具体的に記入します。

(5) 指導過程

段階	学習活動	指導上の留意点 (・→児童生徒の活動 ○→教師の働き掛け ☆→評価)			準備物																										
		A児	B児	C児																											
導入 ○分	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習活動」は、学級で行う大まかな活動を記入します。</li> <li>「指導上の留意点」は、児童生徒の具体的な活動や教師が行う指導・支援を記入します。</li> <li>授業の流れ、児童生徒や教師の動きが分かるように記入します。</li> <li>T・Tの場合は、各教師の役割や児童生徒への関わり方を分かるように記入します。</li> <li>どの学習場面において、どのような方法で児童生徒の学習状況を評価するのかを明確に示します。</li> </ul>																														
展開 ○分	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導過程の書き方は様々あるので、目的に応じて使い分けます。 (本例は、個別の支援が分かりやすい指導過程)</li> <li>○グループごとの支援が分かりやすい指導過程の例</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 20%;">学習活動</th> <th style="width: 40%;">Aグループ (A児, B児)</th> <th style="width: 40%;">Bグループ (C児, D児)</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材・教具等の指導の工夫が分かりやすい指導過程の例</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">学習活動</th> <th colspan="2" style="width: 60%;">作業内容と指導上の留意点</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">教材・教具等</th> </tr> <tr> <th style="width: 30%;">○○作業チーム A児, B児</th> <th style="width: 30%;">△△作業チーム C児, D児</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師の動きが分かりやすい指導過程の例</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 20%;">学習活動</th> <th style="width: 15%;">T 1</th> <th style="width: 15%;">T 2</th> <th style="width: 15%;">T 3</th> <th style="width: 15%;">T 4</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					学習活動	Aグループ (A児, B児)	Bグループ (C児, D児)				学習活動	作業内容と指導上の留意点		教材・教具等	○○作業チーム A児, B児	△△作業チーム C児, D児					学習活動	T 1	T 2	T 3	T 4					
学習活動	Aグループ (A児, B児)	Bグループ (C児, D児)																													
学習活動	作業内容と指導上の留意点		教材・教具等																												
	○○作業チーム A児, B児	△△作業チーム C児, D児																													
学習活動	T 1	T 2	T 3	T 4																											
終結 ○分																															

(6) 本時の評価規準

- ・ …… 「(2) 本時の目標」で育成を目指す資質・能力 …… している。(知識・技能)
- ・ …… に沿って、本時の学習活動を踏まえ、具体的 …… している。(思考・判断・表現)
- ・ …… に記入します。 …… しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(7) 準備物

- ・ 教師： ……
- ・ 児童（生徒）： …… 教師，児童生徒が準備するものを具体的に記入します。

(8) その他

- ・ 本時の学習活動に必要な、「場の設定」や「板書計画」等を必要に応じて記入します。
- ・ 児童生徒や教師の位置，教材・教具の位置，環境整備の工夫等が分かるように記入します。

【参考資料】みやぎ授業づくりガイド(令和4年3月)

<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/>

